

Musashi Academy of the Nezu Foundation  
-Nezu Museum Collaborative Forum

# Marking Time:

Prayer, Daily Life,  
and the Pursuit of Beauty

2025

10/18<sup>土</sup>

14:00~17:00

## Webフォーラム

根津美術館より  
YouTubeライブ配信  
(現地会場はございません)

参加無料／事前申込制

登壇者

踊 共二氏

武蔵大学リベラルアーツ & サイエンス教育センター長

フランソワ・ジュノ氏

オートマタ製作者・時計師

石井 俊太郎氏

セイコーミュージアム銀座 館長

佐野 功氏

京都嵐山オルゴール博物館 解説員

西田 宏子氏

根津美術館 顧問



時を刻む  
祈りと生活、そして美の追求

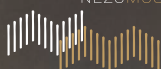
根津育英会武蔵学園・根津美術館連携フォーラム

宝飾時計 C・トンプソン作 イギリス 18世紀 根津美術館蔵



学校法人  
根津育英会武蔵学園  
武蔵大学 武蔵高等学校 武蔵中学校

根津美術館  
NEZUMUSEUM



参加申込はこちら  
申込締切 10/15<sup>⑥</sup>



【主催】学校法人 根津育英会武蔵学園 【企画協力】武蔵大学リベラルアーツ & サイエンス教育センター 【特別協力】公益財団法人 根津美術館

根津育英会武蔵学園・根津美術館連携フォーラム

# 時を刻む

祈りと生活、そして美の追求

学校法人 根津育英会武蔵学園（武蔵大学・武蔵高等学校中学校）と公益財団法人 根津美術館はともに根津嘉一郎（初代）の文化的事業にもとづいて誕生し、発展を遂げた組織です。このたび両組織の連携により、時計および関連する技術・芸術をテーマとするフォーラムを開催する運びとなりました。根津美術館には18世紀から19世紀にかけて製作された豪華な宝飾時計（からくり時計）が3基展示されており、ヨーロッパの精密な技巧と至高の美を伝えています。フォーラムの第1部では、まず東西世界（日欧）の暦と時計の歴史について、また時計の技術から生まれたオルゴールやオートマタ（からくり人形）について導入的な解説を行います。次にスイスから招いたオートマタ製作者・時計師フランソワ・ジュノ氏が特別講演を行います。実用品の域を超えた芸術作品としての宝飾時計とオートマタがテーマです（通訳あり）。講演後には関連するドキュメンタリー作品の紹介、コメントと質疑が続きます。第2部は3つの関連企画から成ります。第一企画はわが国の老舗時計メーカーであるセイコーの創業者で東洋の時計王と呼ばれた服部金太郎の歩みと近代日本人の時間意識について、第二企画は時計・オルゴール・オートマタを収集・展示している京都嵐山オルゴール博物館の価値あるコレクションについて、第三企画は根津美術館収蔵の宝飾時計の来歴とその美術的価値についてです。

## 主な参考作品

（左から）  
宝飾時計 ジョン・モットラム作  
イギリス 18～19世紀  
宝飾時計 C・トンプソン作  
イギリス 18世紀  
宝飾時計 イギリス 18～19世紀  
いずれも根津美術館蔵

中央の宝飾時計は本来、からくりを動かすと、カリヨンが音楽を奏でガラス細工の列柱が回転し、頂部にある瑠璃色の鳥が左右に身を振りながら嘴と尾を動かしてさえずる。



八日巻掛時計  
明治時代 1892年  
セイコーミュージアム蔵  
精工舎初期石原町工場製。明治20年代に柱時計の国産が始まり、掛時計、置時計も普及することになる。



二挺天符目覚付袴腰櫓時計  
江戸時代  
セイコーミュージアム蔵  
江戸時代の和時計。季節によって昼と夜の長さが違う「不定時法」に対応。舶来の置時計の機構を応用した日本独自の技術が特徴。



三日月と道化師 フランソワ・ジュノ作  
スイス 1999年  
京都嵐山オルゴール博物館蔵  
三日月と戯れ演奏する道化師。月はウインクしたり、舌を出しながら左右に動く。



世界最古のオルゴール  
アントワヌ・ファールヴル作  
スイス 1796年  
京都嵐山オルゴール博物館蔵  
スイスの精密機械時計の技術で偶然に誕生した。ミュージックシール（印章型）。



香水瓶  
スイス 1830年頃  
W2.9 × D0.9 × H4.5 (cm)  
京都嵐山オルゴール博物館蔵  
金製。エナメル細密画が描かれ、真珠の装飾がみられる。超小型オルゴール内蔵。

## 当日のプログラム

## 根津美術館よりYouTubeライブ配信（14:00～17:00）

### イントロダクション

暦と時計の東西  
祈る時、働く時、楽しむ時



踊 共二 氏

武蔵大学リベラルアーツ&  
サイエンス教育センター長

近世ヨーロッパとくにスイスの文化と  
社会がおもな研究対象。東西文化の  
比較も手がけている。

### 特別講演

オートマタとアンドロイド  
ヨーロッパの名作



フランソワ・ジュノ 氏

François Junod  
オートマタ製作者・時計師

スイス・サンクロワに工房を構える。日本  
との関係はハウステンボスに作品を  
納めた1990年代から。

### 関連企画Ⅰ

東洋の時計王  
近代日本人の時間意識



石井 俊太郎 氏

セイコーミュージアム銀座  
館長

1983年に服部時計店入社。同社常務  
取締役、(株)和光の代表取締役社長  
を経て昨年より現職。

### 関連企画Ⅱ

カリヨンからオルゴールへ  
妙なる調べ



佐野 功 氏

京都嵐山オルゴール博物館  
解説員

30年以上にわたってオルゴール文化の  
普及に従事する。京博連功労賞受賞。  
メディア出演多数。

### 関連企画Ⅲ

根津美術館の宝飾時計  
来歴と美術的価値



西田 宏子 氏

根津美術館  
顧問

慶應義塾大学を経て英国オックス  
フォード大学で博士号を取得。専門は  
東洋陶磁史。

## 参加申込方法

参加無料／事前申込制

申込締切 10/15<sup>㊞</sup>

本フォーラムはWeb配信のみです。現地会場はございません。

### ① Web申込

右記 QR コードより  
申込フォーム (E-VE!) にお進みください。

<https://e-ve.event-form.jp/event/108674/tokiwokizamu>



### ② 受付完了&配信URLの お知らせメール

メールを受信して完了です。  
当日は、指定のURLからご視聴いただけます。

## 根津美術館 展覧会情報

企画展  
「焼き締め陶 -土を感じる-」  
2025  
9/13<sup>㊞</sup>～10/19<sup>㊞</sup>  
日時指定予約制

詳しくは根津美術館ホームページをご覧ください。

【個人情報取り扱いについて】いただいた個人情報は、本学園の個人情報保護指針に従い厳重に管理し、本フォーラム実施並びに統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。



学校法人

根津育英会武蔵学園

武蔵大学 武蔵高等学校 武蔵中学校

根津美術館

NEZUMUSEUM



## お問い合わせ

- 参加申込について: 申込フォームからお問い合わせください。
- その他全般: 武蔵学園 総務部総務課 東京都練馬区豊玉上1-26-1  
TEL 03-5984-3712 (平日9時～17時)